



「手紙」

最近「手紙」を誰かに送りましたか？私の場合もう何年も封書による手紙は誰にも送っていません。先日友人の一人が約20年住んだマンションから少し広いマンションに引っ越しました。彼女は、物が捨てられない性格でなんでもとっておく人なのですが、そんな彼女にふと言われました。「コモちゃんからは1通の手紙もなかったなあ……」私としては「何言っているの？」と最初彼女の言葉がよくわかりませんでした。もう十数年の知り合いで、用があれば電話し何かあれば会う関係の彼女に手紙を書く必要もなかったのです。その後彼女は続けます。「引越しを機にいろいろ整理していると手紙がたくさんできてね。」「ふんふんふんふん」私は頷きながら聞いておりました。

彼女に届けられた手紙は様々な人からでした。大学入学と同時に故郷を出て一人暮らしを始めたとき、まだ電話がつながっていない時に母親から届いた手紙。大学時代の男友達から届いた3通の手紙は、当時は全く気が付かなかった全く気にもしなかった自分を好きだったであろう恋文のようで恋文のようでない近況報告の手紙。そのほか知人や友人からの結婚が決まったとか、子供が生まれたとか、引越しをするとか、たわいもない今の様子が書かれた普通の手紙達だったといえます。その手紙を読み返してみると忘れていた過去の自分がふと蘇るといふかとても近い存在になった

そうです。10代の頃、20代の頃、そして30代の自分どれも同じ自分でよくわかっているつもりだけれど、今あらためて振り返ってみると当時見えていないものが見えてきたともいいました。最後にしみじみと「手紙ってなんかいいよね、電話はその時すぐに、メールは時間がたつと消えてしまうけど、手紙はずっと残るね。」と言いました。確かにそうかもしれませぬ。手紙が残るといふよりその当時の気持ちが言葉として残っているのでしょう。手紙を書くということは、直接話しをするのと違い面倒くさい面がありますし、じっくり読まれる＝残るといふことで一文字一文字慎重になったりします。そこまでいかななくても話しをするように自分の言いたいことをまとめてみたり、ちょっと考えてこう書いたらいいのではないかと迷ったりするのではないのでしょうか。ある意味「手紙」を書いた人はその「手紙」に対する責任ができるわけです。その手紙は自分の手元を離れ相手に渡るといふことは勿論、ずっと残る存在になるかもしれないのですから。

送った相手がどう思うだろうか？喜んでくれるのか傷つくのか、気持ちが伝わるのか全く伝わらないのか？様々な手紙があるとは思いますが、気持ちのこもった手紙はやはり、じーんときたり、ぐっときたりするものですよね。1通の手紙に励まされた人や人生が変わったという人もいます。

以前ラジオの企画で「10年後の自分に手紙を書こう！」というものがありました。私はその企画のスタッフでもありましたから、10年後の自分への手紙を書いてタイムカプセルに入れることもできましたが、私は書きませんでした。自分に自信がなかったのかこうふりかえてみると10年後の自分に責任を持ちたくなかったのか。でも書いておけばよかったと今は思います。10年前の自分からの手紙がもし届いていたら？今の私へのいい発奮剤になったかもしれません。もしかすると「手紙」というものは

届いた時よりも何年か後に改めて読むことによって感じる存在という一面をもっているのかもしれませんが。4月から『個人情報保護法』のもと各所でシュレッダーを見かけるようになりました。切り刻まれていく葉書や手紙がなんと多いことでしょうか。近い将来、企業、会社だけでなく各家庭でも簡単に安易にシュレッダーをかける時代がくるのでしょうか？そんな時代になっても「手紙」というものがしっかりと残っているといいのですが。残したい「手紙」というものが。

お す す め 取材日記

「NAEYA (なえや)」

高松市木太町の住宅街にある「苗」を販売する自宅ショップです。

オーナーは小西紀代美さんと、2人の女の子のお母さんでもあります。子供を鍵っ子にしたいと勤めをやめて、家に居ながらできる仕事をということで、趣味のガーデニングをいかし、家の庭で種から育てた苗を販売し始めて4年ということでした。

苗の種類は100種類以上。お値段もかなりお安め、ハーブや草花の苗のほか、季節には野菜の苗もあります。珍しい苗もありますよ！

<住所>高松市木太町1区379-2

<電話>087-865-6460

<休み>不定休 営業は9時~14時30分ごろまで



レインボーカラーになるといいうハバネロの苗
(世界で一番からい唐辛子です)



ズラリと苗がならんでいます！